

2023年度第4回新潟競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 十日町特別

十日町（とおかまち）は、新潟県南部の市。市内中央部には信濃川が南北に流れ、十日町盆地とともに雄大な河岸段丘が形成されている。また、西部中山間地域の渋海川流域は、点在する集落と棚田など、農山村の美しい景観で有名。冬は積雪量が多く、「特別豪雪地帯」に指定されている。

○ 松浜特別

松浜（まつはま）は、新潟競馬場に近い阿賀野川河口に位置する漁港の町。淡水と海水が混じり合う沖合には、貝類が多く生息している。

○ 飛翼特別

飛翼（ひよく）は、互いの翼を並べて天高く舞う鳥の様子のこと。本競走は、直線 1,000m のコースでスピードを競い合い、互いに鼻を並べてゴールインする競走馬をイメージして名付けられた。

<第2日>

○ 粟島特別

粟島（あわしま）は、新潟県北部にある日本海に浮かぶ島。周囲約 23km。手付かずの自然が多く残り、自然散策やバードウォッチングが盛ん。また、観光とともに漁業が基幹産業となっており、中でも明治期に始まった鯛の大謀網漁は粟島の名物となっている。

○ 菅名岳特別

菅名岳（すがなだけ）は、新潟県五泉市の東端にある標高 909m の山。中腹にはブナの原生林やカツラの巨木が植生しており、手付かずの自然を見ることができる。山の斜面に開いた穴から湧き出る「どっばら清水」が有名。また、山麓には国の天然記念物「小山田の彼岸桜樹林」があり、春の見頃には多くの登山客で賑わう。

○ 信越ステークス（L）

信越（しんえつ）は、現在の長野県および新潟県の総称。名は、両県の旧国名である信濃国と越後国に由来する。

<第3日>

○ 岩船特別

岩船（いわふね）は、新潟県北部の郡。その地名は日本書紀にも記されており、7世紀頃の大和政権はこの地に「磐舟柵」を設置し、蝦夷対策の前線拠点とした。また、魚沼、佐渡と並びコシヒカリの産地としても知られる。

○ 村上特別

村上（むらかみ）は、新潟県北部の日本海に面した市で、その面積は県内最大を誇る。市街地を流れる三面川の鮭や村上牛が有名。かつては、村上藩の城下町として栄え、現在も市中にその面影が残っている。また、日本海沿岸には瀬波温泉や「笹川流れ」があり、観光都市としても知られている。

○ 北陸ステーキス

北陸（ほくりく）は、本州中央部の日本海側の地域。名は、五畿七道のひとつである北陸道に由来する。

<第4日>

○ 柏崎特別

柏崎（かしわざき）は、新潟県のほぼ中央に位置する日本海に面した市。古来より北国往来の要衝で、人々の往来や文化の伝播、物資の移動が活発に行われてきた。海水浴場が点在しており、夏には多くの人々で賑わう。

○ 妙高特別

妙高（みょうこう）は、新潟県南西部の市。日本有数の豪雪地帯として知られる。また、同市に位置する妙高山は、標高 2,454m の成層火山。越後富士とも呼ばれ、妙高戸隠連山国立公園に含まれる。東麓に広がる妙高高原には、温泉やスキー場などが点在し、リゾート地として賑わう。

○ 新潟牝馬ステーキス（L）

本競走は、牝馬の出走機会を広げ、秋季牝馬路線の充実を図るという観点から 2020 年に創設されたオープン競走。

<第5日>

○ 萬代橋特別

萬代橋（ばんだいばし）は、新潟市の中心部を流れる信濃川に架かる全長 306.9m のコンクリート橋。古くから新潟市の象徴とされてきた。1886 年に最初の本橋が開通し、現在の橋は 1929 年に完成した 3 代目。2004 年に国の重要文化財に指定された。

○ 清津峡特別

清津峡（きよつきょう）は、信濃川の支流である清津川が形成した峡谷。上信越高原国立公園に属し、左右に切り立つ巨大な柱状節理の断崖とその峡谷美により国の名勝天然記念物に指定されている。また、黒部峡谷、大杉谷とともに日本三大峡谷のひとつに数えられている。

○ 魚沼ステークス

魚沼（うおぬま）は、新潟県南東部の市。コシヒカリの産地としても有名。西を魚沼丘陵、東を越後山脈に挟まれた魚沼盆地の北方に位置する同市は、「特別豪雪地帯」に指定されるほどの積雪量を誇る。

<第6日>

○ 聖籠特別

聖籠（せいろう）は、新潟県北部の日本海に面する町。名は、古くに僧侶がこの地の山に籠ったことを受けて、当時の人々がその山を聖籠山と名付けたことに由来する。

○ 鳥屋野特別

鳥屋野（とやの）は、新潟市中央区の信濃川下流右岸の自然堤防上に位置する地名。同地にある鳥屋野潟は、180 種以上の鳥類が確認されており、冬には 4,000 羽を超える白鳥が飛来する。周辺には、桜並木の美しい県立鳥屋野潟公園などがある。

○ ルミエールオータムダッシュ（L）

ルミエール（Lumiere）は、フランス語で「光」という意味を持つ言葉。本競走は、直線 1,000m のコースを光の如く駆け抜ける競走馬をイメージして名付けられた。